

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こばんはうすさくら おおたかの森教室（児童発達支援）			
○保護者評価実施期間	令和7年7月15日 ~ 令和7年7月31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13名	(回答者数)	12名
○従業者評価実施期間	令和7年9月2日 ~ 令和7年9月20日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年10月16日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動、プログラムが充実している ・バランス良く5領域に応じた内容が計画されている ・発達段階に応じて課題をもって支援している ・外出、食育、体験が出来る内容が盛り込まれている	運動、制作、手先の練習、食育など様々な経験が積めるようにプログラムが計画されている。 子どもたちも今日はなにができるんだろうと楽しみにしてくれている様子もある。	子どもたちが興味を持ちやってみたいと参加する支援が提供できるようアイデアを出し合って取り組む。 小さな変化も指導員が発見して新しい経験につながるよう意識していく。
2	支援のねらいや目的意識を持っている ・支援のねらいや目的を明確に検討している ・保護者、本人の希望やニーズに寄り添う支援を行う ・課題への取り組みがチームで行えている	同じプログラムでも年齢や発達段階に応じて個々の課題を意識して成長につながるよう支援にあたっている。 活動におけるねらいや目的を事前に検討するミーティングを行って共有している。	発達の状況によって一人ひとりの児童ができる事、課題となることを明確にして、支援の方向性をチームで考えていく。
3	法人内の系列教室同士で連携がでている ・工夫された活動や支援の情報交換ができる ・事例検討など有益な意見も共有している ・安全管理や事故防止にも効果がある	日々の支援に活かせるような活動や遊びなどを他教室とも情報交換してより良い支援を目指している。 同じような課題に取り組む事例検討の内容を他教室とも共有して支援の向上につなげている。 安全管理、リスク管理にもお互いの情報が役立っている。	記録ノート、朝礼昼礼、振り返りを活用して、不在だった職員にも情報共有しチーム一体で対応できるようにしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	他の施設、地域との交流が取れていない ・地域との交流実現が難しい ・他施設との情報交換の場が少ない	地域の活動や団体に関する情報が少ないので現状である。 安全な交流が可能な活動となると更に情報の幅が狭くなってしまう。	常に情報収集を行い可能性を見出す努力は続ける中で交流の機会となるような情報があれば検討していく。
2	保護者会、父母の交流がない ・子育てに対する意見交換の場として提供は期待される ・検討しているが実現にいたっていない	感染症対策で中断していた保護者会が再開されていない。 以前の開催では保護者から参加の喜びの声も多かったので、子育てや発達の不安を相談し合える場があると良い。	再開催に向けた可能性を考える。 教室数も増えたので、実施について場所や規模など企画し検討していく。
3	身边に公園がない ・児童が集まって遊べるような公園が近所に少ない ・屋外で活動する経験がもっとできると良い	利用者が増えてきたので、みんなで体を動かして遊べるような広い公園が身边にない。 人口の多い都市部であり、祝日の外出行事の場合、混雑を避けることが難しい。	外出活動を増やして、交通ルールを学ぶ機会や集団で行動する経験がもっとできるようにしたい。 他の教室と時間を合わせて交流の機会にするのも実施していく。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こばんはうすさくら おおたかの森教室（放課後等デイサービス）			
○保護者評価実施期間	令和7年7月15日 ~ 令和7年7月31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23名	(回答者数)	22名
○従業者評価実施期間	令和7年9月2日 ~ 令和7年9月20日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年10月16日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動、プログラムが充実している ・バランス良く5領域に応じた内容が計画されている ・発達段階に応じて課題をもって支援している ・外出、食育、体験が出来る内容が盛り込まれている	学校や生活の場で必要な行動、スキルが身につくようなプログラムが計画されている。 運動では体を動かすイメージ、制作では創作意欲や姿勢、ハサミや紐の結び方など日常で役立つ経験が積める。	得意なことも、苦手なこともチャレンジしてやってみようという気持ちが持てるよう工夫して支援していく。 繰り返して行うことを大切にして身につけられるよう取り組んでいく。
2	支援のねらいや目的意識を持っている ・支援のねらいや目的を明確に検討している ・保護者、本人の希望やニーズに寄り添う支援を行う ・課題への取り組みがチームで行えている	活動を行う意味や目的を指導員もしっかりと意識して子どもたちに伝えていけるように話し合っている。 集団の中で行動できる力をつけていくために、ルールのある集団遊びを積極的に取り入れている。	個々の課題や伸ばしたい部分について、指導員がチーム力で一体感のある支援をしていく。 出来たこと、成長、成果を共有して喜びにつなげる。
3	法人内の系列教室同士で連携ができる ・工夫された活動や支援の情報交換ができる ・事例検討など有益な意見も共有している ・安全管理や事故防止にも効果がある	学校での人間関係や成長期の気持ちの動きなど、同じような課題に取り組む事例検討の話し合いを共有して相互に支援の向上につなげている。 安全管理、リスク管理にもお互いの情報が役立っている。	記録ノート、朝礼昼礼、振り返りを活用してチームの一体感が保たれるように情報の共有をしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	他の施設、地域との交流が取れていない ・地域との交流実現が難しい ・他施設との情報交換の場が少ない	地域の活動や団体に関する情報が少ないので現状である。 安全な交流が可能な活動となると更に情報の幅が狭くなってしまう。	常に情報収集を行い可能性を見出す努力は続ける中で交流の機会となるような情報があれば検討していく。
2	保護者会、父母の交流がない ・子育てに対する意見交換の場として提供は期待される ・検討しているが実現にいたっていない	感染症対策で中断していた保護者会が再開されていない。 以前の開催では保護者から参加の喜びの声も多かったので子育てや発達の不安を相談し合える場があると良い。	再開催に向けた可能性を考える。 教室数も増えたので実施について場所や規模など企画して検討していく。
3	自然に触れたり体を思い切り動かして遊ぶ環境が少ない ・児童が集まって遊べるような公園が近所に少ない ・屋外で活動する経験がもっとできると良い	集団遊びを取り入れているが、屋外で体を動かして楽しめる遊びができるような公園が身近にない。 人口の多い都市部であり、外出計画も祝日に多いので混雑を避けることが難しい。	長期休みなど時間に余裕のある時は積極的に外出計画をたてて屋外で遊ぶ機会を増やしたい。